

第1学年『音楽科』年間指導計画 ◆共通教材 ◎鑑賞 小学音楽(教育出版)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4・5	うたつてうごいてみんなでおんがく	◆ひらいたひらいた ◆かたつむり ◎サンダーバード ほか	4～17・64	・曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。 ・拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 ・歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにする。	8	・曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。 ・拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。 ・歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにする。	○	○	○	表情の観察 歌唱の聴取 発言		
5・6・7	はくとリズム	ぶんぶんぶん しろくまのジェンカ ◎ジェンカ ほか	18～25	・曲想と、リズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 ・リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。 ・拍に合わせていろいろなリズムで表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや拍など	7	・曲想と、リズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 ・リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。 ・拍に合わせていろいろなリズムで表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや拍など	○	○	○	歌唱の聴取 演奏の聴取 表情の観察	・枠の歌詞譜(小1p15)	・三線譜(小1p36)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	いっぱい のうた みんな のうた	◆うみ	26・27	・曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けることができるようにする。 ・情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しもうとすることができるようにする。	2	・曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 ・情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しもうとしている。	○		○	表情の観察 歌唱の聴取		・「たきび」や「おしょうがつ」など、季節の歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりに気付く。(小1)
7	まとめ	学期末テスト		1学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	1学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
9	どれみ となかよし	◎どれみ のうた ほか	28～31	・曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。 ・音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 ・階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	4	・曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。 ・音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ・階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しもうとしている。	○	○	○	表情の観察 発言		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9 (20) 10	こん に ち は けん ばん ハ ー モ ニ カ	ど こ こ ど どん ぐり ぐり ぐり ほ か	32 ～ 39	・鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わり気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。 ・旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 ・鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	4	・鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わり気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。 ・旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 ・鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しもうとしている。	○	○	○	活動の観察 発言 演奏の聴取	・枠のリズム譜(小1 P18)	・「指ぐり」「指またぎ」の奏法を理解し、「ドレミのトンネル」や「かつこう」を演奏する。【音階】(小2) ・音符の長さや休符について(小2)
10				・旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 ・階名で模唱したり暗唱したりする技能や互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	2	・「ひのまる」の旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ・「ひのまる」を階名で模唱したり暗唱したりする技能や互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○	○		発言 歌唱の聴取		・「虫の声」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。【音色】(小2)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
10・11・12	ねいろとつよさ	◎ぜんそうきょく	42～45	・打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくり出す技能を身に付ける。 ・音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。 ・様々な試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。	7	・打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくり出す技能を身に付けている。 ・音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。 ・様々な試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しもうとしている。	○	○	○	活動の観察 発言 演奏の聴取		
12	まとめ	学期末テスト		2学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	2学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
1	うたでまねっこ	もりのくまさんほか	46～49	・曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。 ・聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	4	・曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 ・聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しもうとしている。	○		○	発言 活動の観察		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	おとのスケッチ	ねこのなきこえであそぼう	50・51	・音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。 ・高さや強さなど多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。 ・声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	3	・音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ・高さや強さなど多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。 ・声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	表現の観察 発言 活動の観察		・「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴く。【音色・旋律・反復・変化】(小2)
2	おんがくのながれ	◎おどるこねこ	52～54	・聞こえてくる音、拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・曲想と旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりについて気付く。 ・楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	3	・「おどるこねこ」で聞こえてくる音、拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・「おどるこねこ」の曲想と旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりについて気付いている。 ・「おどるこねこ」の楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○	○	○	活動の観察 発言 記述分析		
2	めざせがっきめいじん	すずめがちゅん	55	・範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	1	・「すずめがちゅん」の範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・鍵盤ハーモニカの扱い方や「ドレミファソ」の鍵盤の位置、息の遣い方など基礎的な演奏技能やリズム譜などを見て演奏する。【ド～ソ・タンギング】(小1)	・「ほしのおんがく」で設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる。【旋律・拍・音の重なり・ド～ソ、和音】(小1)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3	みんなのおんがく	おもちゃのチャチャチャ	56 (20) 57	・互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。	2	・「おもちゃのチャチャチャ」を互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取 演奏の聴取		
3	おとのおんがくを スケッチ	ほしのおんがくをつくろう	58 (20) 59	・短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	2	・短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	発言 活動の観察 記述分析		
3	年間のまとめ			・1年間に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・1年間に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
適宜	おんがくランド	わくわくキッチン ほか	60 ～ 71	各題材の発展や補充	7		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	にっぽんのうた みんなのうた	おしよがつ ほか	78 ～ 巻末	各題材の発展や補充、行事や他教科との関連	6		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	ぜんこうがっしょう	さんぽ ほか	68 ・ 69	・拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「さんぽ」の拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	活動の観察		
適宜		校歌・君が代	72 ・ 73	・歌や演奏を聴いて、親しみをもち、一緒に歌う。	2	・歌詞やメロディに親しもうとしている。			○	表情の観察		

第2学年『音楽科』年間指導計画 ◆共通教材 ◎鑑賞 小学音楽(教育出版)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	歌に合わせてリズムであそぼう	朝のリズム	4 (20) 5	・歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「あさのリズム」の歌唱やリズム打ちに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察		
		手びょうしりレー	6・7	・手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。 ・設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	1	・手拍子によるさまざまな音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 ・設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○			表情の観察 活動の観察		
4・5	強さとはやさ	◎「山のま王のきゆうでんにて」他	8・9	・強弱や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	2	・「天国と地獄」「山のま王のきゆうでんにて」の強弱や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。		○		記述分析		
		小さなはたけ	10・11	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	2	・互いの歌声や伴奏を聴いて、「小さなはたけ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取		
		山びこごっこ ◆かくれんぼ	12～15	・曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。 ・強弱の変化や違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	3	・「山びこごっこ」の曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・「かくれんぼ」の強弱の変化や違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○	表情の観察 活動の観察		
6・7		こいぬのピンゴ どうぶつラップ	16・17	・リズム表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	2	・「こいぬのピンゴ」のリズム表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・「どうぶつラップ」のリズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、リズム遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。		○	○	表情の観察 記述分析 活動の観察		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	はくやドレミとなかよし	びよんぴよこロックンロール	18～21	・音楽を形づくっている身近な音符や休符について音楽における働きと関わらせて理解する。 ・リズムや音色を聴き取り、その働きが生み出すやさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考えリズム遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	2	・「びよんぴよこロックンロール」の音楽を形づくっている身近な音符や休符について音楽における働きと関わらせて理解している。 ・リズムや音色を聴き取り、その働きが生み出すやさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考えリズム遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	○	○		表情の観察 記述分析 活動の観察	・三線譜(小1)	・読仮名五線譜(小2年P24)
		かえるのがつしょう	22～25	・階名で模唱したり、リズム譜を見て、互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	3	・「かえるのがつしょう」を階名で模唱したり、リズム譜などを見て、互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする。 ・設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる。【旋律・拍・音の重なり、ド～ソ、音の長さ・和音】(小1)	・「こぎつね」の手の移動などの奏法を練習したり階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする。【手の移動・強弱・ド～ド】(小2) ・ハ長調の視唱視奏と楽譜について(小3)
7	音のスケッチ	音の重なりやリズム	26・27	・鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	3	・鍵盤楽器で音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	活動の観察		
	まとめ	一学期のまとめ		・1学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・1学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
9	めざせ楽き名人	かつこうドレミのトンネル	28・29	・「指くぐり」「指またぎ」の奏法を理解し、範奏や伴奏に合わせて演奏する技能を身に付ける。	2	・「指くぐり」「指またぎ」の奏法を理解し、「ドレミのトンネル」や「かつこう」を演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
9		にじのクレヨン	30・31	・曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・「にじのクレヨン」の曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	活動の観察		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		きよくに合った歌い方	◆虫のこえ ◎ながうた「むしの声」 30・31	・自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 ・旋律を聴き取り、その動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見出して聴く。	2	・「虫の声」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 ・「虫のこえ」の旋律を聴き取り、その動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見出して聴いている。	○	○		歌唱の聴取 歌唱の聴取	・「ひらいた ひらいた」の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。(小1) ・友達と一緒にわらべうたを歌ったり、うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、聴いたり歌ったりする。(小1)	・「うさぎ」の曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。【フレーズ】(小3) ・「日本のたいこ」の太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの動きが生み出すよさを感じ取りながら聴く。【暗色・リズム】(小2)
10		音のスケッチ	どんな音がきこえるかな 34・35	・身の回りのさまざまな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	2	・身の回りのさまざまな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどに関わらせて気付いている	○			記述分析		
10・11		ゆかいな時計 音色とリズム	36・37 森のたんけんたい 38・39	・楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。	2	・「ゆかいな時計」に出てくる楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。		○		記述分析	・「おもちゃのチャチャチャ」の旋律やリズム、拍、楽器の音色や音の重なり、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴く。【リズム・音の重なり・拍】(小1)	・「ウィーン」の音楽時計の拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、自分たちのつくった音楽と共通するところや曲の楽しさを見い出して聴く。【縦と横の関係・反復・強弱】(小2)
11		◆タやけこやけ	40・41	・自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	2	・「タやけこやけ」の曲で自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取	・「うれしいひなまつり」など、季節の歌の表す情景や気持ちと曲想との関わりに気付く。(小1)	・「まっかな秋」の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。(小3)
11		めざせ楽き名人 こぎつね	42・43	・曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。 ・手の移動などの奏法や階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。	2	・「こぎつね」の曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・「こぎつね」の手の移動などの奏法や階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。	○			表情の観察 歌唱の聴取 演奏の聴取	・「かえるのがつしょう」を階名で模唱したり、リズム譜などを見て、互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり演奏したりする。【音の重なり・手の移動・強弱】(小2)	・「汽車は走る」の反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。【反復・速度・音の重なり・和音伴奏導入】(小2)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
11・12	おまつりの音楽	村まつり	44・45	・太鼓の音やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・「村まつり」の太鼓の音や「ドンドン ヒヤラ」のリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	活動の観察		
		◎日本のたいこ	46	・太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだし聴く。	1	・「日本のたいこ」の太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだし聴いている。		○		記述分析	・友達と一緒にわらべうたを歌ったり、うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。(小1)	・「日本や世界の子どもの歌」の旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴く。【拍・旋律・リズム】(小3)
12	おまつりの音楽をスケッチ		47	・太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	3	・太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	活動の観察 記述の分析		
12	クリスマスソングを歌おう	ジングルベル ◎クリスマスソングメドレー	60・61	・曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、季節や行事に関わる歌に親しむ。	1	・曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、季節や行事に関わる歌に親しんでいる。			○	表情の観察		
12	まとめ	2学期のまとめ		・2学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・2学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
1	音楽のながれ	◎そりすべり	48・49	・楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	2	・「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。		○		記述分析	・「2ひきのねこのゆかいなうた」「おどるこねこ」の楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴く。【音色・強弱・呼びかけと答え・旋律・変化・反復】(小1)	・バイオリンやチェロの音色、「ユモレスク」「白鳥」の旋律の反復と変化、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら聴く。【旋律・音色・反復・変化】(小3)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	くりかえしとかさなり	汽車は走る	50 (20) 51	・互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 ・反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	3	・互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 ・「汽車は走る」の反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○	表情の観察 演奏の聴取	・「かえるのがつしょう」を階名で模唱したり、リズム譜などを見て、互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり演奏したりする。【音の重なり・手の移動・強弱】(小2)	・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして、けんぱんハーモニカで「キラキラおひさま」を演奏する。 【音階・調・指ぐりと指またぎ・視奏】(小3)
1・2	みんなの音楽	ウンパッパ	52・53	・曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	1	・「ウンパッパ」の曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			表情の観察	・「汽車は走る」の反復や重なり、速度の変化を生かした表現をする。【反復・速度・音の重なり】(小2)	・「小さな世界」の歌詞のもつメッセージを歌にのせることに興味をもつ。【旋律・音の重なり】(小3)
		チャチャマンボ	54・55	・拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚について考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 ・互いの歌声や音、伴奏を聴いて声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	3	・拍やその流れ、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚について考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。 ・「チャチャマンボ」の互いの歌声や音、伴奏を聴いて声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		記述分析 歌唱の聴取 演奏の聴取		
3	にっぽんのうたみんなのうた	◆春がきた	56・57	・曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	1	・「春がきた」の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			表情の観察 歌唱の聴取	・「虫の声」を自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。【音色】(小2)	・「春の小川」の呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 【旋律・リズム・反復】(小3)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3	音のスケッチ	◎ウィーンの音楽時計	58・59	・音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 ・拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りなら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 ・音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	4	・音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 ・拍やリズムの反復、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りなら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。 ・音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	表情の観察 記述分析 演奏の聴取	・「ゆかいな時計」に出てくる楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化、その面白さを感じ取りながら聴く。 【音色・リズム】(小2)	・「ピーターとおおかみ」の曲想と音色や旋律などが音楽の構造と関わっていることに気付く。【音色】(小3)
3	年間のまとめ			1年間に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	1年間に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
適宜	おんがくランド	あの青い空のように	62～71	各題材の発展や補充	9		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	ぜんこうがっしょう	さんぽ	68・69	・拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「さんぽ」の拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	活動の観察		
適宜		校歌・君が代	72・73	・歌や演奏を聴いて、親しみをもち、一緒に歌う。	1	・歌詞やメロディに親しもうとしている。			○	表情の観察		

第3学年 『音楽科』 年間指導計画 ◆共通教材 ◎鑑賞 小学音楽(教育出版)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	世界のともだちと歌でなかよくなろう	小さな世界	4・5	・歌詞のもつメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「小さな世界」の歌詞のもつメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察	・「ウンパッパ」の曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いて歌う。【拍・旋律】(小2)	・「ドレミの歌」の旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら歌う。【音階・調】(小3)
		アラムサムサム他	6(20)7	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	1	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			発言 演奏の聴取	・「かえるのがつしょう」を階名で模唱したり、リズム譜などを見て、互いの声や音を聴き、拍に合わせて歌ったり演奏したりする。【音階・フレーズ・音の重なり・縦と横の関係】(小2)	・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして、けんぱんハーモニカで「キラキラおひさま」を演奏する。【音階・調】(小3)
4	につぼんのうたみんなのうた	◆春の 小川	8(20)9	・旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	2	・「春の小川」の旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・「春の小川」の呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○	○		表情の観察 発言 歌唱の聴取	・「春がきた」の自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり模唱したり暗唱したりする。【旋律・リズム・反復】(小2)	・呼吸及び発音の仕方に気を付け、「この山光る」を自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う。【音色・旋律・変化】(小3)
5	楽ふとドレミ	キラキラおひさま	10(20)11	・ハ長調の視唱視奏や輪唱による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして、けんぱんハーモニカを演奏する技能を身に付ける。	2	・ハ長調の視唱視奏や輪唱による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして、けんぱんハーモニカで「キラキラおひさま」を演奏する技能を身に付ける。(指くぐりと指またぎ)	○		○	活動の観察 演奏の聴取	・互いの歌声や伴奏を聴いて、「アラムサムサム」の声を合わせて歌う。【くり返し】(小3) ・「汽車は走る」の反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。【反復・速度・音の重なり・和音伴奏導入】(小2) ・読仮名五線譜(小2)	・「雪のおどり」の曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。【音色・縦と横の関係・音の重なり】(小3) ・音色に気を付け、互いの音を聴いて、声を合わせて「ラ クンパルシータ」の主旋律を演奏する。(小4) ・ヘ音記号・ヘ音譜表(小5)
		ドレミの歌	12・13	・曲想と音階など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	2	・曲想と音階など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ・旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○	○		記述分析 記述分析	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。(小3)	・曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。(小3)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
5	にっぽんのうたみんなのうた	◆茶つみ	14～17	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	2	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		○	活動の観察 歌唱の聴取	・「タやけこやけ」の曲で自分の歌声及び発音に気を付けて歌う。(小2)	・互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて「ブパポ」を声を合わせて歌う(小4)
6	こんにちはリコーダー	◎リコーダーは歌う シンシでおはなシ ほか	18～25	・リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。 ・リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ・音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	3	・リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・リコーダーの音色と「シンシでおはなし」の演奏の仕方との関わりに気付いている。 ・リコーダーの音色、「にじ色の風船」の旋律を聴き取り、それらの動きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ・音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて「ゆかいなまきば」を演奏する技能や設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○	○	○	活動の観察 発言 表情の観察 演奏の聴取		・「ハローサミング」の高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しむ。【高ミ・サミング・二重奏】(小4)
6・7	この山光る ひびきのある歌声	◎ホルディリディア	26・27	・呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	2	・呼吸及び発音の仕方に気を付け、「この山光る」を自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取	・「春の小川」の呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う。【旋律】(小3)	・「もみじ」の互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。(小4)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	音のスケッチ	いろいろな声で表現しよう	26・27	・声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	2	・声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。		○		記述分析 活動の観察		
7	一学期のまとめ			・1学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・1学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
9	にっぽんのうたみんなのうた	◆うさぎ	30・31	・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	1	・「うさぎ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			発言	・「虫のこえ」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った歌い方を工夫する。【音色】(小2)	・「さくら さくら」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。【旋律】(小4)
9	めざせ楽き名人	かえり道 レッツゴーソーレー	32・33	・互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	2	・互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
9	せんりつと音色	◎ ユモレスク ◎ 白鳥	34～37	・楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 ・曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	3	・バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ・「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	○	○		表情の観察 発言	・「そりすべり」の楽器の音や旋律の反復・変化、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴く。【音色・旋律・反復・変化】(小2)	

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9・10	曲に合った歌い方	森の子もり唄	38・39	・曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	2	・曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			表現の観察 発言		・呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う。【旋律・フレーズ】(小3) ・「エーデルワイス」の旋律に合った表現を工夫し、拍の流れに乗って、歌ったり、楽器で演奏したりする。【拍・旋律】(小4)
10	にっぽんのうたみんなのうた	◆ふじ山	40～43	・旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴きとったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	2	・「ふじ山」の旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴きとったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○	○		記述分析 歌唱の聴取	・「タヤけこやけ」の曲で自分の歌声及び発音に気を付けて歌う。(小2)	・「里の秋」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら歌う。(小4)
11	日本や世界の音楽	◎日本や世界の子ども歌 陽気なかじや ほか	44～49	・思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付ける。 ・聴き取ったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。 ・日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しむ。	7	・思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付けている。 ・聴き取ったことと関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。 ・日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しもうとしている。	○	○	○	歌唱の聴取 表情の観察 演奏の聴取 活動の観察	・「日本のたいこ」の太鼓の音やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら聴く。【音色・リズム】(小2)	・「ソーラン節」「秩父屋台はやし」「葛西ばやし」など我が国に伝わる様々な音楽の特徴や人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。【旋律・音色・よびかけとこたえ・リズム・反復・音の重なり】(小4)
12	音のスケッチ	雪のおどり	50・51	・曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。	2	・曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。	○			活動の観察	・ハ長調の視唱視奏や輪唱による旋律の重なりに興味をもつ。【音階・調】(小3)	・言葉の面白さを生かした輪唱やボイスアンサンブルに興味をもつ。【強弱・速度】(小4)
12	2学期のまとめ			・2学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・2学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	パートの役わり	◎せいじやの行進	52 (20) 53	・曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽活動に取り組む。 ・曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付く。	3	・「せいじやの行進」の曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽活動に取り組んでいる。 ・「せいじやの行進」の曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○		○	活動の観察 記述分析 発言	・ハ長調の視唱視奏や輪唱による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。 【調】(小3)	・「パフ」の互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌唱したり演奏したりする。 【低音】(小3)
1	めざせ楽き名人	あくびのうた	54 (20) 55	・音色や響きに気を付けて演奏する技能や互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	2	・音色や響きに気を付けて演奏する技能や互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
1・2	音楽のききどころ	◎組曲「アルルの女」からほか	56・57	・曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 ・楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	3	・曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 ・楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	○	○		記述分析 発言	・「マンボナンバーファイブ」の拍やその流れ、リズムを聴き取る。【音色・音の重なり】(小2)	・「アラ ホーンパイプ」を演奏する楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取る。【音色・旋律・よびかけとこたえ・反復・変化・音の重なり】(小4)
2	思いに合った表げん	パフ	58・59	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌唱したり演奏したりする技能を身に付ける。 ・声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	3	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌唱したり演奏したりする技能を身に付けている。 ・声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	○		○	活動の観察 歌唱の聴取 演奏の聴取	・音色や響きに気を付けて演奏する。【レ〜レ】(小3)	・「エーデルワイス」の拍の流れに乗って、歌ったり、楽器で演奏したりする。【拍・旋律・二重奏】(小4)
3	音のひびきや組み合わせ	音のスケッチ	60・61	・各楽器の音色や響きの長短、演奏の仕方、楽器の組み合わせやフレーズのつなげ方などについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付く。	2	・各楽器の音色や響きの長短、演奏の仕方、楽器の組み合わせやフレーズのつなげ方などについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。	○			記述分析		
3	年間のまとめ			1年間に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	1年間に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
適宜	物語の音楽を楽しもう	◎ピーターとおおかみ	62・63	・曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	2	・曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			記述分析 発言		
適宜	音楽ランド	世界中の子どもたちが	64～68	各題材の発展や補充	4		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	全校合唱	さんぽ	69～71	・拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「さんぽ」の拍やその流れに合わせて体を動かすことや音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	活動の観察		
		校歌・君が代	74・75	・覚えて歌えるようにする	1	・歌詞や楽譜を見て、覚えて歌っている。	○			活動の観察		

第4学年 『音楽科』 年間指導計画 ◆共通教材 ◎鑑賞 小学音楽(教育出版)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	「巻頭教材」	ありがたうの花	6・7	・曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じる。	1	・曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じている。			○	表情の観察		
4	スキルアップ	早口	8・9	・呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌ったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。	1	・呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌ったり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・言葉のリズムに合わせ「シンシ」ではなシ」をリコーダー奏する。(小3) ・呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う。(小3)	・言葉のリズム、音の重なり、強弱や速度について、それらのよさや面白さなどと関わらせ理解する。(小6) ・呼吸及び発音の仕方に気を付けて「花のおくりもの」を歌う。(小5)
4	にっぽんのうた みんなのうた	◆さくらさくら ◎さくら変そう曲	10～13	・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・旋律の反復や変化、もとなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、筆の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	2	・「さくら さくら」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ・「さくら さくら」の旋律の反復や変化、もとなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、筆の音楽のよさを見いだして聴いている。	○	○		歌唱の聴取 記述分析	・「うさぎ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。(小3)	・楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。「三味線」(器楽) ・いろいろな奏法による音色の違いを感じ取る。「さくらさくら」(器楽)
	ことのり	さくらさくら	62・63	・筆の音色の美しさを感じ取りながらどのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	適宜	・筆の音色を聴き取り、その働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		演奏の聴取		・楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。「筆」(器楽)
5	ラバーズ コンチェルト ◎メヌエット	はくとせんりつ	14・15	・「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」の拍子の違いに気付く。 ・4拍子の「ラバーズ コンチェルト」と3拍子の「メヌエット」の拍子の違いを感じ取るとともに、いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」の拍子の違いに気付いている。 ・いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○	記述分析		
		トルコ行進曲	16・17	・「トルコ行進曲」を指揮の動きをするなどして2拍子を感じながら聴く。	1	・「トルコ行進曲」の拍の流れや強弱などのよさを感じ取りながら、指揮の動きをしている。		○		記述分析 表現の観察		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		エーデルワイス	18・19	・「エーデルワイス」の旋律に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・「エーデルワイス」の主旋律を拍子を感じ、旋律のまとまりを捉えて歌ったり、演奏したりする。	3	・「エーデルワイス」の旋律に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・拍の流れに乗って、歌ったり、楽器で演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		歌唱の聴取 演奏の聴取	・「森の子もり歌」で、曲に合った歌い方を見つける。(小3)	・いろいろな歌の表現を楽しむ。「エーデルワイス」(中1)
5・6	ひびきのある歌声	◎「サウンドオブミュージック」から	20・21	・ミュージカル「サウンドオブミュージック」について知り、各曲を歌声や旋律に注意して聴く。	2	・歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、旋律や歌声のよさや楽しさを見い出してミュージカルの音楽を聴いている。			○	記述分析		・いろいろな歌の表現を楽しむ。「エーデルワイス」(中1)
		ブパポ	22・23	・パートの関わり合い方を意識して二部合唱をする。	2	・互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて「ブパポ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取	・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて「茶つみ」を歌う。(小3)	
6	にっぽんのうたみんなのうた	◆まきばの朝	24・25	・「まきばの朝」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	1	・「まきばの朝」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。			○	歌唱の聴取		
6・7	音の動き方を生かしてせんりつをつくらう	音の動き方を生かしてせんりつをつくらう	22・23	・音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	2	・音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。 ・音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	○	○		演奏の聴取 記述分析		・歌詞の抑揚を生かして旋律をつくる。(中1)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	めざせ楽器名人	ハロー・サミング	28・29	・高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。	2	・高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて「もののけ姫」から演奏する技能を身に付けている。	○		○	演奏の聴取 行動観察	・リコーダーの音に気を付けて、聴いたり、基本的な奏法を身に付けたりする。(小3) ・タンギング ・息の強さ	・スラーやフレーズに気を付けてリコーダーを演奏する。(小5) ・楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。(器楽)
7		一学期のまとめ		・1学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・1学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
9	曲に合った歌い方	ゆかいに歩けば	30・31	・「ゆかいに歩けば」の主旋律の特徴に合う歌い方を考えて二部合唱する。	2	・「ゆかいに歩けば」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取	・旋律の流れや曲想を生かし、「ふじ山」の歌い方を工夫する。(小3)	・旋律の流れや曲想を生かし、「ハロー・シャイニングブルー」の歌い方を工夫する。(小5)
		◆とんぴ	32・33	・曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・「とんぴ」の曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察		
9	かけ合いと重なり	◎アラ ホーンパイプ	34・35	・曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	3	・「アラ ホーンパイプ」を演奏する楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。		○		記述分析		
10	にっぽんのうた	◆もみじ	36～39	・歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	2	・「もみじ」の歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		○	表情の観察	・互いの歌声や伴奏を聴いて、「この山光る」を声を合わせて歌う。(小3)	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて「冬げしき」を歌う。(小5)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
11・12	日本と世界の音楽	ソーラン節・◎ソーラン節	40～43	・旋律や歌い方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	1	・「ソーラン節」の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		表情の観察	・日本や諸外国の歌や遊びに興味を持ち、音楽活動を楽しむ。(小3)	・声や音楽の特徴を感じ取って歌う。「ソーラン節」(中1)
		◎秩父屋台ばやし ◎葛西ばやし	44・45	・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽の仕組みを用いてお囃子の音楽をつくる技能を身に付ける。	2	・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽の仕組みを用いてお囃子の音楽をつくる技能を身に付けている。	○			表現の聴取		・歌詞の抑揚を生かして旋律をつくる。(中1)
		◎サムルノリ 朝の歌 ◎サンバの音楽	46・47	・諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	1	・諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しもうとしている。			○	表情の観察 演奏の聴取		・アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わう。「日本とアジアの声によるさまざまな表現」(中1) ・世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わう。「世界のさまざまな芸能や音楽」(中2・3)
		おどれサンバ	48・49	・「おどれサンバ」を楽器のリズムで伴奏して歌い合わせる。	2	・「おどれサンバ」の旋律や楽器の音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		表情の観察 演奏の聴取		
12	音のスケッチ	音階をもとにして音楽をつくらう	50・51	・設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。 ・日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けている。 ・日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○	表現の聴取 表情の観察		・歌詞の抑揚を生かして旋律をつくる。(中1)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
12		二学期のまとめ		・2学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・2学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
1	パートの役わり	ラクンパルシータ	52・53	・音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 ・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	3	・音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて「ラクンパルシータ」の主旋律を演奏する技能を身に付けている。 ・「ラクンパルシータ」の曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		演奏の聴取	・鍵盤楽器で指くぐりができる。(小3)	
1	音楽のききどころ	◎ノルウェー舞曲第2番	54・55	・「ノルウェー舞曲第2番」を演奏する楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、強弱や速度の変化に気付く。 ・音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	3	・「ノルウェー舞曲第2番」を演奏する楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、強弱や速度の変化に気付いている。 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	○	○		記述分析		
2	思いに合った表げん	遠き山に日は落ちて	56	・互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて「遠き山に日は落ちて」を演奏する技能を身に付ける。	2(選択)	・互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて「遠き山に日は落ちて」を演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
		グッデーグッバイ	57	・互いの歌声や伴奏を聴き、「グッデーグッバイ」を声を合わせて歌う技能を身に付ける。		・互いの歌声や伴奏を聴き、「グッデーグッバイ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			表情の観察		
3	音のスケッチ	役わりをもとに音楽をつくろう	58・59	・フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音、それぞれの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。 ・役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	3	・フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音、それぞれの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。 ・役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	○	作品	・フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音、それぞれの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、即興的に表現する。(小4)	・二つの音階の響きや各声部の役割を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、即興的に表現する。(小6)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3			学年のまとめ	・3学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・3学期に学んだことを生かしている。	○	○				
適宜	いろいろな歌声を楽しもう	◎歌げき「魔笛」から	60・61	・歌声や旋律、伴奏の働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴く。	2	・歌声や旋律、伴奏が生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴いている。		○		記述分析		
適宜	音楽ランド	半月ほか	64～70	各題材の発展や補充	6		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	全校合唱	さんぽ	71～73	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察 歌唱の聴取		
適宜	校歌・君が代		76・77	・伴奏の響きを感じ取りながら正しい音程で歌う。	1	・響きを感じ取りながら正しい音程で歌っている。	○			歌唱の聴取		

第5学年 『音楽科』 年間指導計画 ◆共通教材 ◎鑑賞 小学音楽(教育出版)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	巻頭教材	夢色シンフォニー	6・7	・歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「夢色シンフォニー」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察		
		花のおくりもの	8	・呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。		・呼吸及び発音の仕方に気を付けて「花のおくりもの」を歌う技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取	・呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う。(小4)	・呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う。(小6) ・「声の出る仕組みと変声期」(中1)
		クラップフレンズ	9	・拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。	1	・拍に合わせ全体の響きを聴いて「クラップフレンズ」を演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
4	につぼんのうたみんなのうた	◆こいのぼり	10～13	・旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	2	・「こいのぼり」の旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取		
5	和音や低音のはたらき	茶色の小びん	14・15	・ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	1	・ハ長調の楽譜を見て「茶色の小びん」を歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
		和音のはたらき	16・17	・和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表現の観察		
		こきょうの人々	18・19	・低音や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	2	・低音や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		記述分析		・長調と短調の響きや速度の変化を聴き取る。(小6)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
5	音のスケッチ	和音に合わせてせんりつをつくろう	20・21	・IⅣVの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・IⅣVの和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表現の聴取	・音の重なりやリズムを選んで、音楽づくりができる。(小2)	・多様な和音の響きや旋律との関わりを聴き取る。(小6)
5・6	アンサンブルのみりよく	◎いろいろな合唱・花	22・23	・声の重なる響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴く。 ・いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	3	・声の重なる響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見出して聴いている。 ・いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しもうとしている。		○	○	記述分析 表情の観察		・情景を思い浮かべながら、言葉を大切にしながら歌う。(中2・3)
		ハロー・シャイニングブルー	24～27	・声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ハロー・シャイニングブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「ハロー・シャイニングブルー」を歌う技能を身に付ける。	3	・声の重なる響きや、旋律の特徴、旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ハロー・シャイニングブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ・各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「ハロー・シャイニングブルー」を歌う技能を身に付ける。	○	○		歌唱の聴取	・旋律の流れや曲想を生かし、「ゆかいに歩けば」の歌い方を工夫する。(小4)	・旋律の流れや曲想を生かし、「明日を信じて」の歌い方を工夫する。(小6)
7	めざせ楽器名人	星笛	28・29	・各声部の音や全体の響きを聴いて、音に合わせて演奏する技能を身に付ける。	2	・各声部の音や全体の響きを聴いて、音に合わせて演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・リコーダーで#ソが演奏できる。(小4)	・リコーダーで♭シ・♭レが演奏できる。(小6)
7	一学期のまとめ			・1学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・1学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
9	アンサンブルのみりよく(オーケストラ)	◎組曲「カレリア」から「行進曲風に」	32・33	・オーケストラの音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 ・「行進曲風に」の曲想と、楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	3	・オーケストラの音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ・「行進曲風に」の曲想と、楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○		○	表情の観察 記述分析		・オーケストラの豊かな響きを感じる。 「交響曲第5番ハ短調」(中2・3)
9	につぼんのうた みんなのうた	赤とんぼ	34・35	・旋律の流れを聴き取り、その働きが生まれるよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感想について考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	1	・旋律の流れを聴き取り、その働きが生まれるよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感想について考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取		・情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌う。「赤とんぼ」(中1)
9	パートの役わり	風とケーナのロマンス	36・37	・各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて「風とケーナのロマンス」を演奏する技能を身に付けている。	2	・各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて「風とケーナのロマンス」を演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取		
10	日本の音楽	◆子もり歌	38・39	・我が国に伝わる音楽や表現、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・我が国に伝わる音楽や表現、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	歌唱の聴取 行動観察		
		◎会津磐梯山／音戸の舟歌	39～41	・我が国の音楽の旋律や声、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感想について考え、演奏のよさを見出して聴く。	1	・我が国の音楽の旋律や声、拍の有無を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感想について考え、演奏のよさを見出して聴いている。		○		歌唱の聴取		・模範演奏をよく聴き、声の音色や節回しの特徴を感じる。 「ソーラン節」(中1)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		こきりこ節	42	・「こきりこ節」の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	1	・「こきりこ節」の旋律や声、楽器の音色、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取		
		谷茶前	43	・沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	1	・沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			表現の聴取		・人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わう。(中1)
11	豊かな表現	地球の向こう側の君へ	44・45	・旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	2	・旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		表現の聴取	・旋律の流れや曲想を生かし、「ゆかいに歩けば」の歌い方を工夫する。(小4)	・旋律の流れや曲想を生かし、「明日を信じて」の歌い方を工夫する。(小6)
		◆冬げしき	46・47	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	2	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて「スキーの歌」を歌う技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取	・互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて「もみじ」を声を合わせて歌う。(小4)	・各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、「ふるさと」を声を合わせて歌う。(小6)
12	音のスケッチ	いろいろな声で音楽をつくらう	48・49	・設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	1	・設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○			歌唱の聴取		
12	二学期のまとめ			・2学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・2学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
1	1	◆スキーの歌	50・51	・旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	2	・旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		表情の観察 演奏の聴取		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	音楽のききどころ	◎つるぎのまい	52・53	・旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 ・「つるぎのまい」のさまざまな特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	3	・旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 ・「つるぎのまい」のさまざまな特徴を見つけることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	○	記述分析 表情の観察		
1・2	思いをこめた表現	ルパン三世のテーマ	54・55	・「ルパン三世のテーマ」の各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	3 (選択)	・「ルパン三世のテーマ」の各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・鍵盤楽器で#ソ・#レが演奏できる。(小4)	
			56・57	・声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。		・声部の関わり合いや全体の響きを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		演奏の聴取		
2・3	音のスケッチ	ずれの音楽を楽しもう	58・59	・リズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解する。	1	・リズムのずれによる音楽の縦と横との関係について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて理解している。	○			記述分析	・ラテンのリズムの反復や重なり、楽器の音色を生かして、音楽をつくる。(小3)	
3		3学期のまとめ		・3学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・3学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
適宜	変そう曲を楽しもう	◎「まず」第4楽章・まず(歌曲)	60・61	・主題の変化や伴奏の動き、楽器どうしのかかわり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴く。	2	・「まず」第4楽章の主題の変化や伴奏の動き、楽器どうしのかかわり合いを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。		○		記述分析		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
適宜	〔しの笛のみりよく〕	◎長唄「越後獅子」からほか	62・63	・音色や響きに気を付けて、篠笛を演奏する技能を身に付ける。 ・篠笛の音色や奏法の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりする。	適宜	・音色や響きに気を付けて、篠笛を演奏する技能を身に付けている。 ・篠笛の音色や奏法の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見出して聴いたりしている。	○	○		演奏の聴取 記述分析		・楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。「篠笛」(器楽)
適宜	音楽ランド	心から心へほか	64～70	各題材の発展や補充	2		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	全校合唱	さんぽほか	71～73	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察		
適宜	校歌・君が代		76・77	・伴奏の響きを感じ取りながら正しい音程で歌う。	1	・響きを感じ取りながら正しい音程で歌っている。	○			歌唱の聴取		
適宜	にっぽんのうたみんなのうた	ペチカほか	82～巻末	・曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	適宜	・曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察 歌唱の聴取		

第6学年『音楽科』年間指導計画 ◆共通教材 ◎鑑賞 小学音楽(教育出版)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	〔巻頭教材〕	つばさをください	6・7	・歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・「つばさをください」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察		・曲想を感じ取り、パートの役割を理解して歌う。「翼をください」(中2・3)
		ワイバーン	8	・呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	1	・呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・呼吸及び発音の仕方に気を付けて「花のおくりもの」を歌う。(小5)	
		言葉をもとにリズムで遊ぼう	9	・音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	1	・音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・言葉の面白さを生かした輪唱に興味をもつ。(小4)	
5	につぼんのうた みんなのうた	◆おぼろ月夜	10～13	・歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情や態度の観察		
		荒城の月／箱根八里	82～巻末	・歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情や態度の観察		・歌詞や旋律が醸し出す雰囲気味わいながら歌う。「荒城の月」(中2・3)
5	短調のひびき	マルセリーノの歌	14	・長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりする。	2	・長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。		○		演奏の聴取		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		◎ハンガリー舞曲 第5番	15	・長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりする。	1	・長調と短調の響きや速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲全体を味わって聴いたりしている。		○		記述分析	・低音や和音の響きを聴き取る。(小5)	・長調と短調の響きや速度の変化を聴き取る。(小6)
5・6	アンサンブルのみよく	◎交響曲第5番「運命」第1楽章から	16・17	・交響曲第5番「運命」第1楽章をオーケストラの響きを感じ取り、「タタターン」の音型を意識しながら聴く。	2	・「交響曲第5番」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。	○			表情や態度の観察 記述分析		・曲の構成に注目して曲想の変化を味わう。「交響曲第5番」ハ短調(中2・3)
		ぼくらの日々	18・19	・「ぼくらの日々」の旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	3	・「ぼくらの日々」の旋律や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取		
6	めざせ楽器名人	The Sound of Music	20・21	・各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	2	・各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・スラーやフレーズに気を付けてリコーダーを演奏する。(小5)	

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
7	いっぱい のうた みんなのうた	◆われは海の子	22～25	・歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察 演奏の聴取		・楽器の特徴を知り、その楽器にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。(器楽)
7		一学期のまとめ		・1学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・1学期に学んだことを生かしている。	○	○	○			
9	せん 律の ひびき かい	ロック マイ ソウル	26・27	・「ロック マイソウル」の旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・「ロック マイソウル」の旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察 演奏の聴取		
		カノン ◎カノン	28・29	・「カノン」の曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解する。 ・音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カノン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	2	・「カノン」の曲想と声部の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音の重なる響きや旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カノン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		記述分析 演奏の聴取		
9・10	音楽のききどころ		◎バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章	・バイオリンとピアノの音色や二つの楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴く。	3	・バイオリンとピアノの音色や二つの楽器どうしの関わり、旋律の反復や変化を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。			○	記述分析		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
10・11		明日を信じて(選択)	32・33	・旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	3(選択)	・旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		表現の観察	・旋律の流れや曲想を生かし、「ハロー・シャイニングブルー」の歌い方を工夫する。(小5)	
			L-O-V-E(選択)	・曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。		・曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しんでいる。			○	表情や態度の観察		
11		じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう	36・37	・和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	1	・和音の響きや旋律との関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。		○		演奏の聴取	・I IV Vの和音に合わせて旋律をつくる。(小5)	
11・12		◎世界の声の音楽/世界の楽器のひびき	38・39	・諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	1	・諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しもうとしている。			○	表情や態度の観察	・諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。(小4)	

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		チャウエチチヨ―チエムチエロ ほか	40・41	・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏したりする技能を身に付ける。 ・聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。	3	・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏したりする技能を身に付けている。 ・聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	○	○		演奏の聴取 発言		
12		二学期のまとめ		・2学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・2学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		
1	日本の音楽	◎春の海	42・43	・我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	2	・我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察 演奏の聴取		
		◆越天楽今様	44・45	・「越天楽今様」の旋律の特徴、声や楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつ。	2	・「越天楽今様」の旋律の特徴、声や楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		演奏の聴取		・日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わう。「平調『越天楽』―管絃―」(中2・3)
1・2		◆ふるさと	48・49	・「ふるさと」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	1	・「ふるさと」の曲想と、旋律の流れなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて「冬げしき」を歌う。(小5)	・地域や他の国との交流、行事など、様々な場面で歌う。(中1)(中2・3)

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	思いをこめた表現	Take me home・Country Roads	50	・「Take Me Home、Country Roads」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	2 (選択)	・「Take Me Home、Country Roads」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取		
		さようなら	51	・「さようなら」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。		・「さようなら」の旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。		○		歌唱の聴取		
2・3	音のスケッチ	役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう	52・53	・設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	2	・設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。	○			演奏の聴取	・フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音など、それぞれの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、即興的に表現する。(小4)	
3		三学期のまとめ		・3学期に学んだことを生かしてまとめのテストをする。	1	・3学期に学んだことを生かしている。	○	○		テスト		

月	題材	曲名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連(同学年を含む) ・異年齢交流 ・教科専門性の活用
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
適宜	ジャズとクラシック音楽の出会い	◎ラプソディーインブルー	54・55	・曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	2	・曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			記述分析		
適宜	音楽ランド	語り合おうほか	56～70	各題材の発展や補充	2		○	○	○	発言 表情の観察 活動の観察 歌唱の聴取		
適宜	全校合唱	さんぽほか	71～73	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	1	・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	表情の観察 歌唱の聴取		
適宜	校歌・君が代		76・77	・伴奏の響きを感じ取りながら正しい音程で歌う。	1	・響きを感じ取りながら正しい音程で歌っている。	○			歌唱の聴取		